第６５回東日本実業団陸上競技選手権大会要項

（英文大会名:EAST JAPAN CORPORATE ATHLETICS CHAMPIONSHIPS）

兼第 71 回全日本実業団対抗陸上競技選手権大会予選会

【重要】

新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては、感染拡大防止の観点から必要な対策を講じる。

主　催　東日本実業団陸上競技連盟

後　援　栃木県・栃木県教育委員会

宇都宮市・宇都宮市教育委員会

毎日新聞社

主　管　栃木陸上競技協会

１．日　時　２０２３年5月２０日（土）～２１日（日）

２．会　場　カンセキスタジアムとちぎ（栃木県総合運動公園陸上競技場）

〒321-0152　栃木県宇都宮市西川田 4-1-1　TEL028-615-0581

３．種　目　第１日（男子）100m、400m、1500m、10000m、110mH、5000mW、4×100mR、4×400mR（予）、棒高跳、三段跳、円盤投、やり投

【シニア（35 歳以上）　100m】

【視覚障がい者 1500m】

（女子）100m、400m、1500m、10000m、100mH、5000mW、走高跳、棒高跳、三段跳、円盤投、やり投

【シニア（30 歳以上）　100m】

【視覚障がい者 1500m】

第２日（男子）200m、800m、5000m、400mH、3000mSC、4×400mR（決）、走高跳、走幅跳、砲丸投、ハンマー投

【シニア（35 歳以上）　1500m、砲丸投】

【視覚障がい者 5000m】

【招待リレー（予定）】

（女子）200m、800m、3000m、5000m、400mH、3000mSC、4×100mR、走幅跳、砲丸投、ハンマー投

【シニア（30 歳以上）　1500m、砲丸投】

【視覚障がい者 5000m】

【招待リレー（予定）】

※男女とも 800m以上の種目（3000mSC 含む）については、タイムレースとする。
また、男女とも 5000mW は、WRk 申請は行わない。

４．参加資格及び参加料

(1) 2023 年度日本実業団陸上競技連合の登録競技者で東日本実業団陸上競技連盟傘下の競技者。

また、他の実業団連盟登録競技者の参加を認めるが、オープン扱いとする（※）。

１種目１名 3,000 円、リレーは１チーム 5,000 円。

※オープン扱い：予選のあるトラック競技は予選のみ、フィールド競技は３回の試技のみ（走高跳、棒高跳は除く）とし、すべての競技において順位の対象外とする。

(2) 都道府県陸協 登録者。（実業団未登録者、ただし中体連・高体連・学連登録者を除く）

なお、全日本実業団対抗陸上競技選手権大会の参加資格付与の関係より、今大会より他の実業団連盟登録競技者同様、オープン扱いとする（※）。

１種目１名 6,000 円 ２種目目以降は１種目 3,000 円、リレーは１チーム 5,000 円。

(3) シニア（男子 35 歳以上・女子 30 歳以上）種目への参加者は登録の有無は問わない。

１種目１名 3,000 円

※参加料はいかなる場合も返金はしない。

上記いずれの場合においても、日本陸連競技規則にて競技を行える競技者であれば、パラ陸上競技者・デフ陸上競技者の参加を認める。（参加料は各カテゴリー同額）
デフ陸上競技者の申し込み等については、日本デフ陸上競技協会のホームページを参照すること。
（ http://www.j-daa.or.jp/jdaa/ 、問合せ先： office@j-daa.or.jp ）
なお、リレー競技に関しては、2020 年度からの日本実業団陸上競技連合登録規程変更により、クラブチーム登録も可能となったことから、2019 年度までの臨時チームの参加は認めない。

５．参加制限

(1) １人当たりの参加種目数及び１チーム当たりの参加者数の制限はしない。

(2) 外国人競技者は全種目含め１チームの出場制限はしない。

(3) 外国人競技者は、前年度労働契約を締結した日以降、日本国内に滞在した日数が延べ累計 120 日以上（前年度が初年度の場合は 180 日以上、移籍後も同様）であり、連盟に登録申請した日から 6 か月経過していなければならない。

また、今年度、学校教育法第１条に定める学校を卒業し引き続き採用された競技者については日数による制限をしない。

６．表　彰

(1) 各種目の優勝者には選手権賞を、３位までの入賞者には賞状および副賞を授与する。

(2) 成績の良い競技者若干名に「優秀選手賞」「敢闘選手賞」を授与する。

(3) 日本記録・大会記録を更新した競技者に「新記録賞」を授与する。

(4) 新人競技者（高卒２年目まで、大卒１年目）の優秀な競技者に「新人賞」を授与する。

７．申し込み

(1) 当連盟のホームページに掲載された内容により、４月７日（金）までに申し込むこと。

申し込みの際、2021 年４月１日以降申し込み日までの自己最高記録の入力を失念しないこと。

申し込み期間内で公認記録がない場合、他種目の記録での申し込みも認めるが、トラック種目の番組編成においては該当種目での記録を優先とする。

上記の観点から、タイムレース決勝とする 800m 以上の種目申し込み者で期日後に記録の更新があった場合は、４月 18 日（火）まで記録の変更を受け付ける。該当種目以外の記録については WA のスコアリングテーブルのポイントを基に順位付けを行う。

なお、日本陸上競技連盟の定める強化競技者に関しては、東日本実業団連盟強化委員長判断で出場を認める場合がある。

(2)申し込み情報に記録漏れなどの不備がある場合、申し込みを受け付けないことがある。

(3)本大会で連続10回出場になる競技者は、別途『連続表彰申請書』も提出すること。

※第62回大会（2020年度）は中止のため、連続出場は途切れないが出場回数には含めないこととする。

(4)参加料は銀行振込または現金書留にて、申し込みと同時に行うこと。

振込先：三井住友銀行 人形町支店

口座名：東日本実業団陸上競技連盟

口座番号：普通 ９０８１９８

８．出場意思確認について（全種目共通）【重要】

(1)**一次招集として、全種目の参加者に対して出場の意思確認を行う**。

（確認手法については、別途、改めて案内する）

1500m以下の種目は、出場意思のある競技者により当日番組を編成する。

そのため、欠場する場合は必ず欠場届を提出すること〔参照：１０．その他（4)〕

出場の意思確認が一次招集となることから、**欠場届なく欠場した場合は失格（招集漏れ）とし、かつ、次年度以降の本大会への出場を認めない場合がある。**

(2)一次招集通過後、怪我・体調不良等により欠場する場合も、必ず欠場届を提出すること。

(3)当日番組編成を行う種目（1500m以下）の番組は、競技時間の1時間 30 分前までに速報サイトに掲載する。なお、その他の種目はプログラム表示通りとする。

９．ドーピングコントロール

(1)本競技会は、ワールドアスレティックス(WA) アンチ・ドーピング規則および規程、もしくは日本アンチ・ドーピング規程に基づく競技会（時）ドーピング検査対象大会である。競技会（時）検査は大会前日23時59分から検査が終了するまでの期間であり、尿又は血液 （或いは両方）の採取が行われる。検査該当者は検査員の指示に従って検査を受けること。

(2)競技会（時）検査の対象となった場合、顔写真付きの身分証明書が必要となる。顔写真のついた学生証、社員証、運転免許証、または顔写真が鮮明なパスポートコピーなどを持参すること。

(3)本競技会参加者（18 歳未満の競技者を含む。以下同じ）は、競技会にエントリーした時点で日本アンチ・ドーピング規程に従いドーピング検査の対象となることに同意したものとみなす。18 歳未満の競技者については、本競技会へのエントリーにより、親権者の同意を得たものとみなす。

(4)上記（3）にかかわらず本競技会に参加する 18 歳未満の競技者は、親権者が署名した同意書を大会に持参すること。親権者の同意書フォームは、日本アンチ・ドーピング機構（JADA）のウェブサイト（ https://www.playtruejapan.org/jada/u18.html ）からダウンロードできる。18 歳未満の競技者はドーピング検査の対象となった際に、親権者の署名した当該同意書を担当検査員に提出すること。なお、親権者の同意書の提出は18 歳未満時に 1 回のみで、当該同意書の提出後に再びドーピング検査の対象となった場合は、すでに提出済みであることをドーピング検査時に申し出ること。ドーピング検査会場において親権者の同意書の提出ができない場合、検査後 7 日以内に JADA 事務局へ郵送にて提出すること。ドーピング検査実施時に親権者の同意書の提出がなかった場合でも、ドーピング検査手続に一切影響がないものとする。

(5)本競技会参加者は、JADAクリーンスポーツ・アスリートサイト(https://www.realchampion.jp)を利用して、アンチ・ドーピングについて事前に学習しなければならない。

(6)本競技会参加者は、本競技会において行われるドーピング検査（尿・血液等検体の種類を問わず）を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続を完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性がある。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意すること。

(7)競技会（時）・競技会外検査問わず、血液検査の対象となった競技者は、採血のため、競技/運動終了後 2 時間の安静が必要となることがあることに留意すること。

(8)ＴＵＥ申請について
禁止表国際基準で定められる禁止物質・禁止方法を病気の治療目的で使わざるを得ない競技者は“治療使用特例（TUE)”の申請を行わなければならない。詳細については、日本陸上競技連盟医事委員会のウェブサイト（ https://www.jaaf.or.jp/about/resist/medical/ ）、又はJADAのウェブサイト（ https://www.realchampion.jp/resources/000162.html ）を確認すること。禁止物質・禁止方法についてTUEが付与されている場合には、その証明書（コピーで可）をドーピング検査の際に担当検査員へ提出すること。

(9)WAアンチ・ドーピング規則および規程、日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、WAまたはJADAのウェブサイトにて事前に確認すること。

１０．その他

(1)競技は2023年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項により実施する。

(2)競技に使用する用具は、全て競技場備え付けのものを使用すること。
但し、投てき用具については、競技場に備え付けのない（投てき用具一覧にない）もの、または同じ投てき用具が１本しかない場合は、個人所有のものを検査の上、使用することができる。

(3)本大会に出場した東日本実業団連盟登録者のうち、別に定める第71回全日本実業団対抗陸上競技選手権大会Ｓ・Ａ標準記録突破者、及び第８位までの入賞者（リレー含む）で同大会Ｂ標準記録突破者は、同大会への参加資格の権利を有する。
（予選会の趣旨から、オープン扱いとなる他の実業団連盟登録者には本項は適用されない）
※参加標準記録については、日本実業団陸上競技連合ホームページ参照のこと。

(4)欠場する者は必ず欠場届を提出すること。
【提出先】
①5月17日(水)12時まで：hnj_2016@yahoo.co.jpまたはFax03-3861-7999（東日本連盟事務局）
②5月17日(水)12時以降～19日(金)：hnj_2016@yahoo.co.jp（メールのみ）
③当日：競技者受付（当日直接提出が困難な場合は、上記メール宛でも可）

(5)種目により男女混合で競技を実施する場合がある。

(6)本大会は監督会議を実施しない。

(7)ポール・やり等の送付・輸送については、別途、案内する。

(8)照会先 〒101-0032 東京都千代田区岩本町2-10-2 神田ウサミビル601号
東日本実業団陸上競技連盟 事務局長 佐久間幸宏
(℡03-3861-6116 Fax03-3861-7999)